

区政Now！（令和2年12月号）

「区政は区民を幸せにするシステムである」・・・西川太一郎

発行：荒川区

しあわせ



今年も残すところ一ヶ月を切りました。新型コロナウイルス感染症という未曾有の事態に直面したこの一年を振り返り、こうした時こそ、区民の皆さまの暮らしを支える基礎自治体の責任者として、皆さまに寄り添い、不安を少しでも取り除き、安心して暮らして頂けるよう、これまでも増して必要な取組をしっかりと進めていきたいと決意を新たにしております。

新型コロナウイルス感染症の感染者が再度増加しており、東京都による警戒度が4段階のうち最高レベルに引き上げられました。区施設利用の際は、検温、マスクの着用、他の利用者との距離の確保、室内の換気、手指の消毒や手洗い、名簿や来館者カードのご提出等をお願いしております。ご自宅におきましても、引き続き、感染防止対策を徹底頂けますようお願いいたします。

「事業承継フォーラム」を開催しました。

11月26日、ゆいの森ホールで事業承継フォーラムを開催しました。このフォーラムは、中小企業の経営者や後継者の方に、事業承継に向けた初めの一步を踏み出すヒントを得て頂くために実施したものです。

第一部では、古典落語の「置泥」という演目に事業承継の要素を盛り込んだ創作落語「置泥と団子屋」を、事業承継の専門家である事業承継士の方が演じました。第二部では事業承継士3人によるパネルディスカッションを行い、第三部では、ベテラン相談員による個別相談会を実施しました。



落語の様子

地域経済の活力・向上を図るためには、次の世代へ円滑に事業を継承していくことが重要です。区では『事業承継への早期の準備』を多面的にサポートしています。11月は事業承継支援強化月間として、事業承継にあたり準備すべきことや、区の支援内容についてお伝えするオンラインによる事業承継セミナーも実施しました。その他、中小企業診断士による訪問相談や、融資、補助金といった支援メニューは年間を通して用意しておりますので、ぜひご利用ください。

冬も省エネ型エアコンの導入を支援します。

この夏、省エネ型エアコンの購入・買い替え費用の一部を助成する「荒川区ステイホーム・エアコン事業」事業を実施し、大変多くの方から申請を頂きました。冬季においても引き続き、「統一省エネラベル4つ星以上」のエアコンの購入・買い替え費用の助成を実施します。

冬は、一年の中で最も二酸化炭素排出量が多い季節です。本事業は、省エネ型エアコンの利用により、家庭からの二酸化炭素排出量を削減するとともに、三つの密を避けて自宅で快適に過ごして頂くことで、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防ぐことを目的としています。

対象者は、令和2年9月1日時点で荒川区に住民票があり、かつ、個人住民税の滞納がない方で、自宅にエアコンを設置される方です。（なお、この夏に実施した「荒川区ステイホーム・エアコン事業」による助成を受けた世帯の方は対象外となります。）

対象機器は、令和2年9月1日～令和3年1月31日に購入した「統一省エネラベル4つ星以上」の新品のエアコンに限ります。省エネラベル3つ以下の機器は対象外となりますので、ご注意ください。

主な事業

健康づくりに関するDVD「喜寿からの健幸づくり」を配布しています。

区では、高齢者の方々の自宅での健康づくりをサポートするため、東京都立大学の監修による健康づくりに関するDVD「喜寿からの健幸づくり」を制作しました。DVDは、区役所2階高齢者福祉課及び区内各地域包括支援センターにおいて、希望者に無料で配布しています。また、区ホームページ（Youtube）でも配信しています。

このDVDには、日常生活のすき間時間で簡単にできる運動や脳トレ、荒川ころばん体操よりも体への負荷の小さい健康づくり体操を収録しており、思い立った時に、繰り返しできる内容となっています。さらに、特に高齢者の方に注意していただきたい熱中症やヒートショックの予防についても学ぶことができます。

新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中で、多くの高齢者の方々が外出を控え自宅で長い時間を過されることで、加齢に伴って筋力や心身の活力が低下した状態を指す「フレイル」の進行等が心配されています。動画を見ながら繰り返し体と頭を動かすことで、日々の健康づくりにお役立てください。

災害時における弾性ストッキング等の供給に関する協定を締結します。

区と一般社団法人災害用弾性ストッキング協会は、災害が発生、または発生するおそれがある場合に、避難所生活等に必要な弾性ストッキング等の供給に関する協定を締結します。

災害用弾性ストッキングは、ひざ下のハイソックスタイプで、血流促進のため足首から下腿または大腿部に向かって、段階的に圧迫圧が弱くなる構造となっています。足を使った運動を行うことが難しい寝たきりの高齢者や、足の不自由な方等に装着することで、エコノミークラス症候群の発症予防に有効であるとされています。

区では、77の民間団体、18の友好交流都市、17行政機関と災害協定を締結しています。今後も災害発生時にお互い助け合える体制の構築と環境整備に推進してまいります。



災害用 弾性ストッキング

手づくりのハロウィン仮装でファッションショーを開催しました。

10月28日、熊野前ひろば館で、荒川区内の小学校に通う小学生を対象に、感染予防に取り組みながら、「ハロウィンファッションショー」を開催しました。このファッションショーは、参加する子どもたちに作り上げる楽しさを知ってもらうため、自分たちの手で、洋服やアクセサリを一部制作し、オリジナルのファッションを取り入れ、特設ランウェイを歩いて披露するイベントです。

ファッションショーが始まると、仮装した子どもたちが、順番にランウェイを歩き、ポーズをとると、「かわいい！」や「かっこいい！」などの歓声が飛び、大きな拍手が起こりました。小学2年生の女子児童は、「かわいい魔女に変身してみました。こだわりは帽子です」と笑顔でポーズしてくれました。

このイベントは、子どもたちの発想や創造性を形にすることで、自分へ自信をつなげてもらうことを目的に開催しています。今後とも、子どもたちが、様々な経験を積めるような事業の展開を進めてまいります。



ハロウィンファッション
ショーのようす